

# 2023年度 ドコモ市民活動団体助成事業 活動成果報告書

2024/9/30

団体名	NPO法人わかものまちの		活動タイトル	こども・若者のまちづくり参画推進のモデル事業の実施及びネットワークの構築	
<p align="center"><b>望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）</b></p>				<p align="center"><b>■ 活動風景</b></p>	
<p>● <b>地域の望ましい社会状況(ビジョン)</b></p>	<p>こども・若者がひとりの市民として参画できる社会となること。具体的には、市民参加や市民協働の様々な場面で、こどもや若者も当たり前のようにその場に参加し、自由に意見を伝えることができるようになる社会。</p>			<p>ユースカウンシルプロジェクトキックオフミーティングの様子</p>	
<p>● <b>団体の社会的役割(ミッション)</b></p>	<p>「静岡を世界で一番、若者に優しいまちにし、日本のすべてのまちをわかものまちにします」をミッションに掲げている。具体的には、すべての若者が社会に参画できるよう、①若者の参画活動の支援、②若者が参画できる社会環境の整備、③ 上記の活動のための調査研究、を主として活動を行っている。</p>				
<p>● <b>団体の活動基盤</b></p>	<p>● <b>人材の確保と育成：</b>                      ・こども若者のまちづくり参画、居場所支援を担えるコーディネーター、ファシリテーター（ユースワーカー）が専任として複数名所属している。                      ・実践を担うコーディネーターやファシリテーターだけでなく、調査研究を行う研究人材を団体内に抱えている。</p> <p>● <b>リソースの確保：</b>                      ・こども・若者参画の拠点となる居場所施設（ユースセンター）の設置</p> <p>● <b>活動資金：</b>                      こども・若者の意見表明や参画活動の支援不足は、社会課題であり、活動対象から考えても自立化が難しい分野である。そのため行政による資金援助が重要であるが、人口減などの状況も鑑みれば、地元企業などからの支援も含めて検討する必要がある。</p> <p>● <b>ナレッジ：</b>                      全国各地のこども・若者の意見表明、参画に関する実践の事例共有や、具体的な支援方法に関する情報。</p>				
<p align="center"><b>■ 活動報告</b></p>		<p align="center"><b>■ 1年間の目標に対する達成状況(まとめ)</b></p>		<p>こども・若者参画協議会⑦ 高校生、大学生との対談の様子</p>	
<p>NPO法人わかものまちは、2023年9月から2024年8月まで「こども・若者のまちづくり参画推進モデル事業」を展開した。この事業では、菊川ユースカウンシルプロジェクトの設置を中心に、若者が政策提言を行う場を提供した。また、こども・わかもの参画協議会を通じて、行政やNPO、地元企業との連携を図り、まちづくりにおける若者参画の重要性を共有した。これにより、地域内外で若者の声を反映するためのネットワーク強化が図られ、参画意識の向上した。</p> <p>また「菊川市こども・わかもの参画宣言」の発表や、報告書の作成を通じて、活動内容を成果としてまとめ、地域社会に還元することができた。</p> <p>若者参画ファシリテーション講座では、若者参画のファシリテーターを担うことのできる人材の確保に務めた、ボランティアとしてその後ファシリテーターを担える人も増えてきており、徐々に地域での活動を支える人材が増えてきている。</p>	<p>NPO法人わかものまちは、2023年9月から2024年8月まで「こども・若者のまちづくり参画推進モデル事業」を展開した。この事業では、菊川ユースカウンシルプロジェクト準備会の設置を中心に、若者が政策提言を行う場を提供した。参加した若者および、アンケート調査を通じて、より多くの意見を提言に含めることができた。また、こども・わかもの参画協議会を通じて、行政やNPO、地元企業との連携を図り、まちづくりにおける若者参画の重要性を共有した。これにより、地域内外で若者の声を反映するためのネットワーク強化が図られ、参画意識の向上が見られた。</p> <p>また、宣言の発表や、報告書の作成を通じて、活動内容を成果としてまとめ、地域社会に広めることができた。</p>				
<p align="center"><b>■ 事業を通じて得られたノウハウ</b></p>		<p align="center"><b>■ 望ましい社会状況を達成するための課題</b></p>		<p align="center"><b>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</b></p>	
<p>本事業を通じて得られたノウハウとして、まず若者の参画を促すためには、若者自身が主体的に運営に関わる事が重要であることが確認した。高校生や大学生がプロジェクトの中心となることで、彼らの当事者意識が高まり、モチベーションの維持にもつながった。また、オンラインとリアルな場を組み合わせ合わせた柔軟なミーティングの方法や、サポーターや運営に関わる若者のファシリテーターのスキル向上によって、若者がより積極的に意見を述べる場を提供することが可能となった。</p>	<p>こども・若者がひとりの市民として社会に参画することが当たり前となる社会をめざすためには、まだいくつかの課題が残っている。特に、若者の意見を反映させる場が限られていることや、参画の継続性を保つことが難しい点が挙げられる。また、多忙な若者にとって、定期的な活動に参加することが困難な場合もあり、柔軟な参加方法の検討が必要。さらに、地域全体でこども・若者の参画を推進するために、市全体の理解と協力を深めるため、学校、NPO、企業、市、地域への情報発信、協働のプロジェクトなどの連携の強化が求められる。</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>この1年間の活動を通じて、若者が主体となってまちづくりに参画し、参画の意識を高めること</p>	<p><b>を達成しました。</b></p>
<p align="center"><b>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</b></p>		<p>ユースカウンシルプロジェクトの取り組むテーマとして、大学生や参加している高校生がユースセンターの立ち上げや多様な若者の声をどう拾うかというプロジェクトに取り組み、若者自身が若者参画をテーマに取り組んでいる。</p>			